

第2次白老町子どもの読書活動推進計画

元気まち

”

わくわく

”

読書プラン



平成20年12月

白老町教育委員会

## 目次

### 第1章はじめに

1	計画策定の背景・趣旨	1
	(1) 計画策定の背景	
	(2) 国及び北海道の計画策定	
	(3) 白老町の計画策定	
2	推進目標	2
3	計画の期間	2

### 第2章子どもの読書活動推進のための基本方針

1	子どもの読書活動の意義	3
	(1) 読書の役割	
	(2) 本との出会い	
	(3) 読書習慣づくりの推進	
2	子どもの読書活動の現状	4
	(1) 就学前児童の読書活動	
	(2) 児童生徒の読書活動	
	(3) 読書活動事業	
3	子どもの読書活動推進の基本的な考え方	5
	(1) 家庭・学校・地域・行政が相互に連携・協力した取組の推進	
	(2) 読書に親しむ子どもが育つための環境整備の推進	
	(3) 読書活動への理解と関心のための啓発活動の推進	
3	推進体制と役割	6

### 第3章 子どもの読書活動推進のための取組

- 1 家庭……………7  
（1）親子で楽しむ読書の環境づくり
- 2 幼稚園・保育園・児童館等……………8  
（1）読書の楽しさにふれるための読み聞かせの充実
- 3 学校……………9  
（1）学校における読書習慣を身につける機会の提供  
（2）学校図書館の読書環境の整備充実  
（3）学校における読書活動の普及啓発と学校関係者の意識高揚
- 4 地域・町民団体及びグループ……………11  
（1）子どもへの読書の楽しさや親しむ機会の提供
- 5 町立図書館……………12  
（1）読書活動の推進事業の実施  
（2）町立図書館の読書環境の整備充実  
（3）町民団体等への支援・連携、読書情報の提供



### 1 計画策定の背景・趣旨

#### (1) 計画策定の背景

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されたことを受け、本町では、平成17年1月「白老町子どもの読書活動推進計画」を策定し、家庭、学校、行政等が一体となって、子どもたちの読書環境の整備充実を図ってきました。

今回、前計画の期間が終了したことを受け、これまでの成果や課題を検証し、改めて、本町における子どもの読書環境の整備充実に向けた計画を策定し、将来を担う子どもたちの健やかな心をはぐくむことを目指すものです。



#### (2) 国及び北海道の計画策定

わが国では、読書の持つ計り知れない価値に鑑み、平成12年を「子ども読書年」とするとともに、平成13年「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、4月23日を「子ども読書の日」と定めるなど、国を挙げて子どもの読書活動の支援体制を整え、学校における一斉読書活動の普及や公立図書館の貸し出し冊数の増加など顕著な成果を上げてきました。

しかしながら、成長過程における読書率の低下や地方公共団体の取組状況の格差、さらには「OECD（経済協力開発機構）生徒の学習到達度調査」により、子どもたちの読解力の向上が課題であることが明白となったことから、平成20年3月新たな「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を定め、国として更なる読書活動の推進に歩を進めたところです。

一方、北海道でも国の法律を受け、平成15年11月に「北海道子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動を推進してきたところ

ですが、その取組の成果と課題を検証し、平成 20 年に第 2 次計画となる「次代を担う子どもの心をはぐくむ北の読書プラン」を策定し、読書環境の整備に努めているところであり、子どもの読書活動については、「北海道教育ビジョン」の基本方向の視点として、また「北海道教育推進計画」の施策項目として「読書活動の推進」が明確に位置づけられ、計画的に推進されることとなっています。本計画では、北海道内各市町村に対し、独自の子どもの読書活動推進に関する計画を策定し、子どもの読書活動の充実に向けた取組への期待を示しています。

### (3) 白老町の計画策定

本町においても、平成 16 年 4 月から「白老町子どもの読書活動推進委員会」を設置し、検討を重ね、平成 17 年 1 月「白老町子どもの読書活動推進計画」を策定し、事業の推進を図ってきたところです。

本町の計画についても、国や北海道の計画に基づき、あらゆる機会と場所において、誰もが等しく読書活動に親しむことができる環境整備を目指し、施策の総合的かつ計画的な推進を図っていきます。

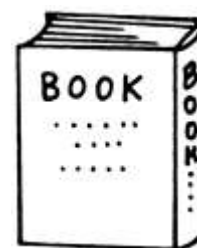
## 2 推進目標

本町の計画は、「いつでも」「どこでも」「だれにでも」を合言葉に、子どもが楽しみながら、読書に親しみ、読書の大切さを知ることができるよう子どもの読書活動を地域全体で支え、読書を通じた子どもの心の育成に全力で取り組んでいきます。

## 3 計画の期間

計画の期間は、子どもの読書活動を継続的に推進するため、また「北海道子どもの読書活動推進計画」との整合性を図り、平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 カ年間とします。

その進捗状況については、「白老町子どもの読書活動推進委員会」に報告し、その意見等を踏まえて、計画の効果的な推進に努めます。



### 1 子どもの読書活動の意義

#### (1) 読書の役割

幼少期からの段階的な読書活動は、絵を見て感性を養うことから、徐々に多くのことばや情報、そして物語を通じて豊かな心と想像力をはぐくみ、人としての成長に大きな力となるものです。読書は、次代を担う子どもたちの豊かな人間形成と「生きる力」を身につけるため非常に大きな役割を担っています。

#### (2) 本との出会い

子どもにとっての読書は、家族との触れ合いの時間でもあります。家庭で絵本を読んでもらうことから始まり、成長の段階に応じて、次第に自発的な読書へとつながっていきます。そして、多くの良書との出会いが、心を豊かにし、人生の糧として将来への目標や指針を与えるきっかけともなるものです。

#### (3) 読書習慣づくりの推進

近年、子どもたちの活字離れが指摘されています。このことは、小さな頃から本と触れ合う機会をあまり持てなかったり、本と触れ合うことで心地よい体験をしていないことが原因の一つとして考えられます。ですから、大人は、子どもが見たいとき、読みたいときに、いつでも本を手にとれるような環境を整え、子どもが本に親しみ読書する習慣をつくっていけるような支援をしてあげることが大切です。そのためには、大人が子どもの特性や発達段階に配慮しながら、子どもに本を与える時機や内容について考えてあげることも大切なことです。また、家庭と地域が連携し、読み聞かせなど、本に触れ、親しむ機会を計画的に設定することによって、子どもの読書習慣の形成を図る活動を推進していくことが求められています。



## 2 子どもの読書活動の現状

### (1) 就学前児童の読書活動

就学前児童の読書活動は、幼稚園・保育園の在園中における読み聞かせのほか、各家庭において読み聞かせが行われており、子育てサークルに通う保護者を対象としたアンケートでは、約9割が週1回以上、約5割以上が毎日の読み聞かせを実施しています。

### (2) 児童生徒の読書活動

本町における子どもたちの読書活動の現状は、平成19年12月実施の「学校図書館に関するアンケート調査」において、小学生低学年（1～3年生）の83.9%、小学生高学年の73.2%が「本が好きである」と回答しています。

一方、中学生では56.4%に低下し、町立図書館における貸し出し冊数からも中学生から高校生にかけて読書に触れる機会の減少が見受けられます。

### (3) 読書活動事業

図書館では、ブックスタート事業をはじめ、各種読書活動推進事業を実施するとともに、調べ学習や総合的な学習の時間などの場として活用されています。

各学校や幼稚園、保育園などにおいても、「朝読書」や読み聞かせが実施され、計画的な読書環境づくりが進められるとともに、町民活動団体等による読み聞かせも精力的に行われています。

今後とも、子どもの読書活動を推進するため、各関係機関や家庭、団体等の主体的な取組とともに、その連携・支援、相互理解に努めていくことが求められています。



### 3 子どもの読書活動推進の基本的な考え方

子どもの読書活動を推進するためには、あらゆる機会や場所において本に触れることのできる環境が必要です。このことから、家庭や関係機関、団体等が連携協力するとともに、それぞれの役割を認識し、取組を進めることが必要です。

#### (1) 家庭・学校・地域・行政が相互に連携・協力した取組の推進

子どもたちのすべての出発点は、家庭です。特に幼少期から子どもの読書習慣を構築するためには、家庭での取組が必要不可欠です。その家庭での取組を地域全体が見守り、支えながら、読書環境を整え、活動を促進していきます。

#### (2) 読書を楽しむ子どもが育つための環境整備の推進

子どもたちの豊かな感性をはぐくむため、多くの本に触れ、そこから本の楽しさを知ることが大切です。家庭での読書環境の整備とともに、より魅力的な蔵書の整備と活用されやすい図書館の環境づくりを進めます。

#### (3) 読書活動への理解と関心のための啓発活動の推進

読書への理解・関心を深めてもらうため、学校・地域・行政が主体的に啓発活動を行うとともに、保護者に対しても積極的に情報提供などの働きかけを行います。また、より身近に感じられる親しみやすい図書館づくりを進めます。



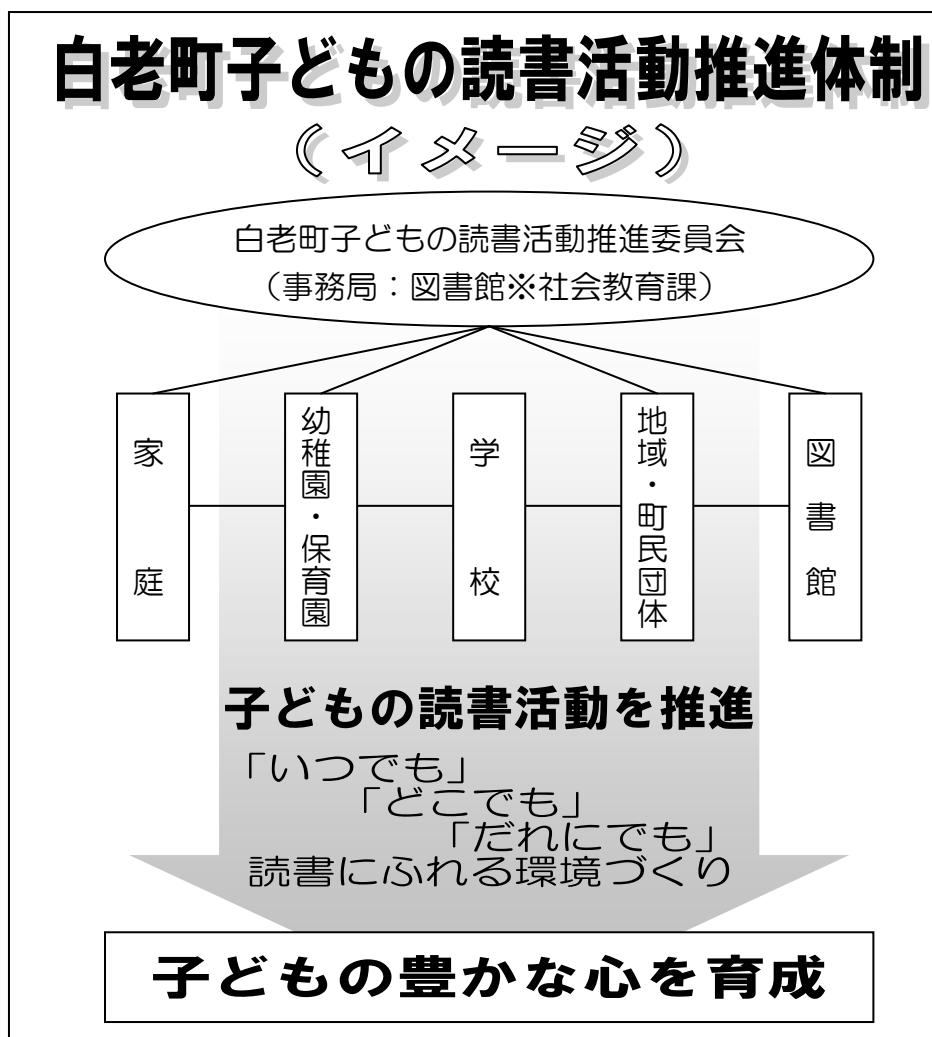


## 4 推進体制と役割

本計画の推進にあたり、家庭、学校、地域が一体となった取組を推進するため、関係機関、団体等との連携・協力関係を強化し、それぞれが主体性を持って取り組みます。

また、各関係機関や団体は、次の役割を担い、子どもの読書活動を推進します。

- ① 家庭 親子で楽しむ読書環境づくり
- ② 学校 読書習慣を身につける機会の設定、学校図書館の整備充実、学校関係者の意識高揚
- ③ 幼稚園・保育園・児童館等 読み聞かせ等の充実
- ④ 地域町民団体等 読書の楽しさや親しむ機会の提供
- ⑤ 図書館 読書活動推進事業の実施、町立図書館の読書活動の整備充実、町民団体等への支援・連携、読書情報の提供



### 第3章 子どもの読書活動推進のための取組

#### 1 家庭

現代の少子高齢化社会、核家族化の進展は、人と人のつながりはもとより、家族で過ごす時間の確保すら困難にしています。

また、高度情報化、近代化社会の中であって、子どもたちの生活様式も多様化し、その関心は、テレビゲームに代表される無機質な世界へと誘導されがちです。

このような社会情勢の中であって、これまで以上に家庭の重要性が高まっています。幼少期から子どもが本と触れあい、表現力や想像力、そして確かな言葉と感性をはぐくむために、各家庭における親子で楽しい読書環境づくりをすすめます。

##### (1) 親子で楽しむ読書の環境づくり

###### 【家庭に期待する取組内容】

###### ① 家庭でできる読書環境づくり

- ・ ブックスタート事業によるきっかけづくり
- ・ 各家庭における読み聞かせの推進
- ・ ブックリストなどによる情報収集

###### ② 本を通じたネットワークづくり

- ・ 読書講習会や研修会への参加
- ・ 親同士のネットワークづくり
- ・ 子どものコミュニケーション機会の創出



ブックスタートは、すべての赤ちゃんのまわりで  
楽しくあたたかいひとときがもたれることを願い  
一人ひとりの赤ちゃんに  
絵本を開く楽しい体験ととともに、  
絵本を手渡す活動です。

<http://www.bookstart.net>



## 2 幼稚園・保育園・児童館等

幼稚園や保育園では、継続的に読み聞かせの時間が確保されており、子どもの読書習慣づくりの大きな推進力となっています。

そのほか、児童館や児童クラブなどにおいても計画的に読み聞かせが実施されており、子どもたちの真剣なまなざしと笑顔が広がられています。

これらの活動には、保育士はもちろん、読み聞かせサークルなどボランティアの活躍も大きく、また、図書館もなかよし文庫やふくろう文庫など蔵書の不足を補いながら、地域ぐるみで活動が行われています。

今後も幼少期の子どもたちへの精力的なアプローチにより、読書活動の推進に努めていくことが求められています。

### (1) 読書の楽しさにふれるための読み聞かせの充実

#### 【取組内容】

- ① 幼稚園・保育園等における読書機会の充実
  - ・ 保育時等における読み聞かせの実施・充実
  - ・ 職員の読み聞かせ研修等への参加促進
- ② 保護者等への理解促進・啓発
  - ・ 保護者への「子ども読書の日」等のPR
  - ・ 保護者向けブックリストの作成
  - ・ 保護者、育児サークル等への読み聞かせ研修への参加
- ③ 蔵書の充実
  - ・ なかよし文庫等の活用による蔵書の充実
  - ・ 個人貸出ノート作成による蔵書管理

#### 『なかよし文庫』

幼児期から本に親しみ、読書をする習慣を身につけてもらうため、年4回、町内の児童関係施設（幼稚園・保育園・児童館等）に絵本・児童書を配本しています。



### 3 学校

子どもたちが、少年期の多くの時間を過ごし、多くのことを学ぶ学校では、平成17年度から学校司書の派遣により、従来に比べ飛躍的に図書室の環境整備が進み、蔵書の充実も図られるなど、今後、一層の読書活動の促進が期待されています。

現在では、休み時間などを利用して、学校図書館を訪れる児童・生徒の数も徐々に増加しており、学校で本に触れる機会とともに学校図書館司書や図書ボランティアとの交流など、本を媒体としたコミュニケーションの形成も図られ、良好な環境づくりが進められています。

また、朝読書の時間を活用した保護者による読み聞かせや町立図書館と連携した調べ学習の実施など、学校での読書活動への取組は充実度を増しており、引き続き、良好な読書環境づくりに向け、学校と地域、行政が一体となった取組を進めていくことが必要です。

#### (1) 学校における読書習慣を身につける機会の提供

##### 【取組内容】

- ① 保護者、団体等の活用による読書習慣づくり
  - ・ 朝読書、読み聞かせなどにおける保護者、読み聞かせ団体等の活用による読書機会の充実
- ② 児童生徒への情報提供、意識啓発
  - ・ ブックリストの作成、情報提供
  - ・ 「子ども読書の日」に係る啓発事業の実施
- ③ 計画的な読書環境づくり
  - ・ 学校図書館の有効活用を図る指導計画の作成
  - ・ 年間読書計画の作成
  - ・ 朝の全校一斉読書の実施
  - ・ 学年間の児童生徒による読み聞かせ交流の実施
  - ・ 「調べ学習」の実施

学校では『ブックトーク』も行われています。

『ブックトーク』とは、教師や図書館職員（学校司書）などが特定のテーマに関する何冊かの図書を批評や解説などを試みながら順序良く紹介し、図書館利用の促進を図る読書指導の一つの方法です。



## (2) 学校図書館の読書環境の整備充実

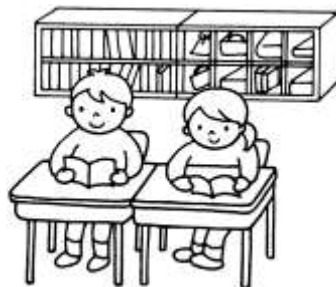
### 【取組内容】

- ① 学校図書館の魅力ある読書環境づくり
  - ・ 児童生徒のニーズにあった蔵書整備の充実
  - ・ 障がいのある子どもに対応した資料整備の充実
  - ・ 誰もが使いやすい学校図書館の環境整備の充実
- ② 学校図書館の体制づくり
  - ・ 地域ボランティア等との連携協力による貸出体制
  - ・ 司書教諭の図書担当への配置促進
  - ・ 学校司書の配置促進
  - ・ 学校図書館システム導入とネットワークの構築
  - ・ 司書教諭等への教職員研修の充実

## (3) 学校における読書活動の普及啓発と学校関係者の意識高揚

### 【取組内容】

- ① 学校図書館に係る研修、啓発事業の実施
  - ・ 「子ども読書の日」などの記念事業への積極的な取組
  - ・ 教職員等への研修の実施、充実
  - ・ 学校図書館だよりの発行
- ② 児童生徒のニーズ把握
  - ・ 児童生徒の読書状況のアンケート調査の実施



## 4 地域・町民団体及びグループ

町内では、いくつもの読み聞かせサークルが、学校や図書館などを舞台として、おはなし会を開催し、本の紹介や読み聞かせを実施しています。これらの取組を通じ、子どもたちが本に触れる機会の創出はもちろん、親子のふれあいの時間としても非常に有意義な取組となっています。

しかしながら、これらサークル活動をめぐる状況は決して安泰ではなく、新たな子育て中の親の参加などによる活性化が期待されています。

子どもたちの読書環境の構築には、これら地域・町民団体等の力が必要不可欠であり、可能な限り行政等が連携、支援し、引き続き精力的な活動を進めていくことが必要です。

### (1) 子どもへの読書の楽しさや親しむ機会の提供

#### 【取組内容】

##### ① 読み聞かせの充実

- ・ 学校との連携による読み聞かせの実施、充実
- ・ ブックスタート事業への協力
- ・ おはなし会の開催、充実

##### ② 団体活動の活発化

- ・ 指導者講習会、研修会の開催、参加による技能向上
- ・ 図書館、学校との連携協力による活動促進
- ・ 読書ボランティアネットワークの整備拡充
- ・ 異世代交流促進による子どもの読書活動機会の創出



読み聞かせ講座には、大きな期待が寄せられています。

※ H19 絵本フェスティバルから

## 5 町立図書館

町立図書館は、本町の読書活動の中心として各種事業に取り組んでいます。

平成14年度から実施しているブックスタート事業は、乳幼児がはじめて手にする本を贈呈することにより、保護者に対する読書への意識高揚にも大きな効果を挙げています。

また、読み聞かせサークルと協力したおはなし会の開催のほか、学校授業等における児童生徒の調べ学習、就業体験など、学校への読書活動支援、特に学校司書との連携によって、子どもたちの良好な読書環境づくりが進められています。

しかしながら、近年の逼迫する財政状況による図書購入費の減少とともに少子高齢化、人口減少などの社会構造上の要因から、貸出冊数の減少傾向が続いており、各種団体との連携による魅力ある事業展開の必要性や効果的な広報活動など、読書活動の普及啓発に向けた更なる取組が必要となっています。

### (1) 読書活動の推進事業の実施

#### 【取組内容】

##### ① 読書のきっかけづくり

- ・ ブックスタート事業の実施、検証
- ・ 乳児検診（10カ月、13か月）時における啓発
- ・ 誰もが使いやすい資料の整備、利用促進
- ・ おはなし会の実施
- ・ 児童図書コーナーの充実

##### ② 読書環境の拡充、各団体等への支援、協力

- ・ 子ども活動施設、団体等との一層の連携協力
- ・ 1日司書、職業体験、調べ学習など学校等の支援
- ・ 学校や団体への司書の派遣
- ・ 読み聞かせボランティアの発掘と養成

##### ③ 読書活動啓発、技術の向上

- ・ 保護者や団体を対象とした講演会、研修会の検討、実施
- ・ 親子ふれあい事業の検討、実施
- ・ 中高生を対象とした事業の検討



## (2) 町立図書館の読書環境の整備充実

### 【取組内容】

#### ① 蔵書の充実

- ・ 子どもの発達段階に応じた蔵書の充実
- ・ 郷土資料・アイヌ民族関係資料の保存と充実

#### ② より親しまれる図書館サービス、環境づくり

- ・ 児童図書コーナーの整備充実
- ・ 利用者端末の増設等の検討
- ・ 移動図書館車の利便性向上、臨時運行など利用促進
- ・ 地域での返却箇所の増設検討
- ・ 使いやすい図書館の開館時間等の検討

#### ③ 将来に向けた環境整備

- ・ 総合的な施設改善計画の策定の検討



## (3) 町民団体等への支援・連携、読書情報の提供

### 【取組内容】

#### ① 読書活動促進への支援、協力

- ・ ボランティア等との連携協力体制の充実
- ・ 町民団体やボランティア活動団体の読み聞かせ等への支援、協力
- ・ ボランティア養成講座等の検討、実施
- ・ 読書団体等の表彰等、活動の促進
- ・ 学校への図書館司書の派遣促進

#### ② 情報提供、サービスの向上

- ・ 図書館だよりの発行
- ・ ホームページの充実
- ・ ブックリストの発行
- ・ 他の図書館との相互貸借制度の活用による利便性の向上

#### ③ 計画的な読書活動の推進

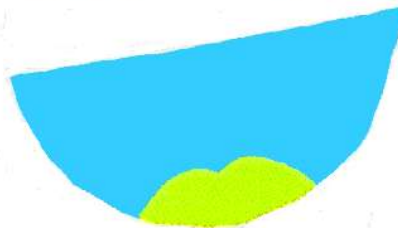
- ・ 白老町子どもの読書活動推進委員会の運営
- ・ 白老町子どもの読書活動推進計画の進行管理

#### 『相互貸借制度』

図書館の相互協力の一つで、利用者の求めに応じて各市町村図書館間で資料の貸借を行い、資料の不足を補う制度。



北海道にある、元気まち



しらおい

北海道◎白老町

発行 平成20年12月

白老町子どもの読書活動推進委員会

事務局：白老町教育委員会社会教育課

〒059-0906 白老町本町1丁目1番3号

電話：0144-82-3000

メール：shakai@town.shiraoi.lg.jp